

I 単 元 3.人間のきずな「字のないはがき」

II 指導計画

(1) 授業の経過(各時のねらい)

第1時 「疎開」について知ろう

第2時 本文を読み、内容の把握と語句の意味を理解しよう

第3時 本文前半から、「父」の人物像(人柄)を考えよう

第4時 本文後半における、場面ごとの「父」の気持ちを考えよう [本 時]

第5時 文章全体を通して、「私」の「父」への思いを考えよう

(2) 本時の目標

- ① 表現や描写から、場面ごとの「父」の気持ちを読み取ることができる。(読む)
- ② ペアワークやグループ活動を通して、「父」の気持ちについて理解を深めることができる。
(関心・意欲・態度)

(3) 目指す生徒の具体的な姿

- ① ペア活動を通して、「父」の心情がより強く伝わる表現や描写を見つけようとする姿。
- ② ペアやグループ、学級内のさまざまな意見に耳を傾け、意見交流をしようとする姿。
- ③ 各活動を通して、場面ごとの「父」の気持ちの変化を、自分なりにまとめようとする姿。

(4) 目標達成のための支援とてだて・授業時の工夫

- ・ペアワークやグループワークでより話し合いが深まるよう、人間関係を考慮した、本単元用の座席を用意する。
- ・本文後半の場面の展開を3つに分けて気持ちを考えることを明確に示す。
(①妹が疎開するまで ②妹が疎開しているとき ③妹が帰ってきたとき)
- ・場面ごとの気持ちが考えやすく、意見交流しやすくなるよう、ワークシートを準備し、ワークシートに本文を載せておく。
- ・「父」の気持ちの根拠となる表現に線を引くよう指示を出す。
 - ┌ 自分の気付いた表現などは「赤」で線を引く
 - └ 仲間との活動の中で気付いた表現などは「青」で線を引く⇒ 生徒が自分の考えと仲間の考えを比較しやすくするため
- ・「○○という表現から△△という気持ちが考えられる」と根拠を伝えながら意見交流ができるように指示をする。
- ・ペアワークやグループワークでの意見交流が行われているか、適宜机間指導を行い、必要に応じて助言をする。

(5) 本時の学習の流れ

- (1) 前時の振り返り【5分】
父親の人物像をふまえた上で、父親の気持ちを探っていけるよう、本時のねらいを理解する
- (2) ワークシートの配布【2分】
- (3) 個人活動【8分】
 - ・3場面を確認する
 - ・「父」の気持ちがわかる表現や描写に赤線を引く
- (4) ペアワーク【15分】
 - ・線を引いた箇所から、場面ごとの気持ちを考えながら言葉(文字)でまとめる
- (5) グループワーク【10分】
 - ・ペアで話し合った「父」の気持ちをグループで伝えあい、各場面の気持ちを「気持ちカード」に記入して黒板に貼る
- (6) まとめ【5分】
 - ・黒板に貼られた気持ちカードから、場面ごとの「父」の気持ちについて、最終的な自分の考えをワークシートに記入する
- (7) ふりかえり【5分】
 - ・授業の振り返りを記入する